

4／12（金）の行事

その先の、道へ。北海道  
Hokkaido. Expanding Horizons.

報道発表資料の配付日時 4月3日（水）10時00分

発表項目 (行事名)	「北海道e-水(イーミズ)プロジェクト」支援団体の決定と キックオフミーティングの開催について															
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時) 月 日( ) 時 分～	発表者														
			発表場所													
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道では、平成21年11月に北海道コカ・コーラボトリング株式会社と「環境保全に関するパートナーシップ協定」を締結し、平成22年から、道内の水辺において環境保全活動を行う団体の事業に対し助成を行う「北海道e-水プロジェクト」を、同社及び（公財）北海道環境財団と協働で実施しており、平成31年で10年目を迎えます。</li> <li>○ 平成31年の助成事業には17団体から応募があり、選考委員会における厳正な審査の結果、10事業（団体）を選定しました。 これまで採択された団体数は延べ101団体になります。</li> </ul> <p>&lt;支援団体&gt;（五十音順、事業概要等は別添一覧のとおり）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">①阿寒湖のマリモ保全推進委員会</td> <td style="width: 50%;">②網走川流域の会</td> </tr> <tr> <td>③石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク</td> <td>④大沼ラムサール協議会</td> </tr> <tr> <td>⑤釧路自然保護協会</td> <td>⑥（一社）ちせ</td> </tr> <tr> <td>⑦道東のイトウを守る会</td> <td>⑧NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト</td> </tr> <tr> <td>⑨北海道北見北斗高等学校サイエンスクラブグローカルアクションプロジェクト</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑩ヤツメウナギ研究会</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ プロジェクト10年目を記念して、平成31年の活動開始となる「キックオフミーティング」を一般公開で開催します。 e-水プロジェクト10年を振り返るビデオ上映や今回採択された10団体からの活動内容の発表を行います。</li> </ul> <p>日 時：平成31年4月12日（金）14：00～17：30（途中入退場自由） 場 所：赤れんが庁舎2階1号会議室 （札幌市中央区北3条西6丁目） 申 迅：事前申込必要 (公財) 北海道環境財団「北海道e-水プロジェクト事務局」 電話：011-218-7811 FAX：011-218-7812 E-mail : emizu@heco-spc.or.jp ※お名前、ご所属、ご連絡先を明記の上、お申し込みください。</p>	①阿寒湖のマリモ保全推進委員会	②網走川流域の会	③石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク	④大沼ラムサール協議会	⑤釧路自然保護協会	⑥（一社）ちせ	⑦道東のイトウを守る会	⑧NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト	⑨北海道北見北斗高等学校サイエンスクラブグローカルアクションプロジェクト		⑩ヤツメウナギ研究会				
①阿寒湖のマリモ保全推進委員会	②網走川流域の会															
③石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク	④大沼ラムサール協議会															
⑤釧路自然保護協会	⑥（一社）ちせ															
⑦道東のイトウを守る会	⑧NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト															
⑨北海道北見北斗高等学校サイエンスクラブグローカルアクションプロジェクト																
⑩ヤツメウナギ研究会																
参考																
報道(取材) に当たって のお願い	<p>キックオフミーティングの開催を広く周知するため、記事掲載等にご協力をお願いします。 また、新聞掲載やテレビ放映されることにより、民間団体等が行う水辺の環境保全活動や、行政・企業・環境団体による協働取組の重要性が広く認知されることから、積極的な取材にご協力をお願いします。</p>															
他のクラブ との関係	同時配付	経済記者クラブ ※北海道コカ・コーラボトリング(株)が配布														
同時 レグ																
担当 当 (連絡先)	<p>(プロジェクト全般については) 環境生活部 環境局 気候変動対策課 民間連携グループ（主幹 大久保） ☎ [ダイヤルイン] 011-204-5197] [内線24-305]</p> <p>(団体の活動内容など具体的な事項については) (公財) 北海道環境財団 ☎ 011-218-7811 担当：内山</p>															

2019年北海道e-水プロジェクト支援団体一覧

		団体名／事業名	活動地域	事業概要
流域ネットワーク	1	網走川流域の会 小さなごみも見逃さない！マイクロプラスチックを探せ！！	網走川流域	マイクロプラスチック問題の普及啓発、網走川流域(網走市、津別町、美幌町、大空町)での調査、漂着物展示を通じた啓発、流域一齊のごみ拾い
	2	石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク 石狩川流域湿地環境啓発事業		1)未保全湿地の継続調査とリスト化、探索会の開催、2)普及啓蒙のための映像・資料作り、3)湿原植物利活用WSの開催、4)湿地カフェ開催※「様路福移湿地」「美唄湿原」の保全を進めるため2)を最優先で実施
単団体	1	阿寒湖のマリモ保全推進委員会 阿寒湖チュウルイ湾でのマリモ総個体数一齊調査プロジェクト	阿寒湖	阿寒湖チュウルイ湾の100地点に上る調査地点にあるマリモをすべて引き上げ、大きさ・重量などを計測する。そのためのボランティア募集や活動にかかる備品等も申請。
	2	大沼ラムサール協議会 Wise useを意識した地域づくりProject		流入河川を含めた湖水調査と外来種の調査を通じて大沼の現状の把握を行う。また、大沼地域の将来ビジョンを話し合う場を設定し、ワークショップにより議論を行う。大沼研究発表会で成果を発表する(期間外)。
	3	釧路自然保護協会 ヒブナ産卵地保護を目的とした、効果的なウチダザリガニ駆除方法の開発	釧路市春採湖岸北東部	ヒブナの産卵水草保護を目的に、ウチダザリガニ侵入防護壁の有無や駆除強度の強弱によって、個体数がどのように変化するか調査を行う。実験区内でウチダザリガニを絶滅できれば、水草の回復が期待できる。
	4	一般社団法人ちせ 沿岸漂着物に関する住民参加型調査と漂着物トランクキット開発		沿岸の自然整備保全の理解と海洋マイクロプラスチック問題を念頭においた海岸漂着物の調査を行う。また、啓発のための海岸漂着物トランクキットの作成や啓発パンフレットの作成なども行う。
	5	道東のイトウを守る会 手作り魚道による釧路湿原のイトウ個体群の復元2019	釧路川流域	釧路川遡上障害の落差工(No.7)に手作り魚道を設置し、イトウ個体群の復元を図る
	6	NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト 環境共生型汚水処理システムの実践研究と普及活動		環境負荷の少ない汚水浄化システムを目指し、植物浄化水路を制作する。特に窒素・リンを除去する。環境教育の場としても活かしワークショップで行う。
	7	北海道北見北斗高等学校サイエンスクラブ グローカルアクションプロジェクト 常呂川水系を大切にするプロジェクト — おいしい保全 ザリガニウォッティング in 仁頃川 —	常呂川水系流域(北見市)	高校生が小学生を対象にウチダザリガニの防除活動と調理を行う。また、常呂川でごみの収集を行い、発生抑制に向けたパンフレット等を作成し、啓発を行う。
	8	ヤツメウナギ研究会 北見幌別川水系及びその流域における河川資源の保護・増殖事業及び環境保全に関する啓蒙活動(Reborn THE ヤツメ)		歌登の川をフィールドに希少種となったカワヤツメの捕獲・受精・放流を行う。同時に外来種調査も行う。子どもたちを対象に「川の生きもの」「水辺の鳥」の観察会を行う。その他、河川の清掃活動や講演会なども行う。

## 『北海道e一水(イーミズ)プロジェクト』について ～北海道コカ・コーラボトリング(株)と道のパートナーシップ協定による取組～

### 事業概要

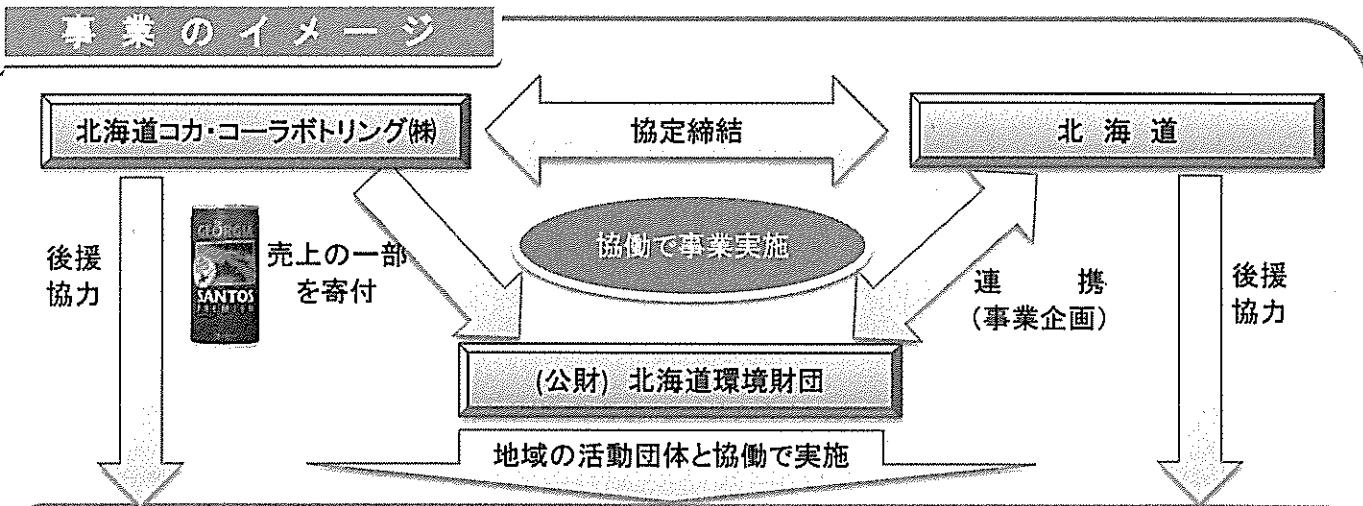
北海道コカ・コーラボトリング(株)から、コーヒーの売上げの一部を北海道の環境保全に役立てたいとの趣旨の事業提案を受けて、道は同社と平成21年11月20日に「環境保全に関するパートナーシップ協定」を締結しました。

「北海道e一水プロジェクト」は、この協定に基づく道、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(公財)北海道環境財団の協働事業で、平成22年から実施しています。

この事業では、同社が販売するコーヒー「ジョージアサントスプレミアム」北海道限定デザインの売上の一部の寄付を受け、それを活用して、同社、道及び(公財)北海道環境財団の連携のもと、道内の各地域(水辺)において水質浄化活動や清掃活動などの環境保全活動に取り組む団体が実施する事業に対し助成するとともに、活動の輪を広げるための情報発信の場として、「北海道e一水フォーラム」を開催します。

\*「e一水」とは、エコロジーをイメージする「e」と「きれいな水」というイメージを重ね合わせ、名付けたものです。

### 事業のイメージ



#### 地域の活動団体

- <団体例>  
・こどもエコクラブ  
・〇〇川を守る会  
・NPO法人 等



地域(水辺)で  
清掃活動、植樹、  
学習会、観察会  
などを実施

取組事例発表

参加

道民(親子など)

【情報の発信】  
「キックオフミーティング」  
の開催(毎年4月)

「北海道e一水フォーラム」  
の開催(毎年11月)

情報の共有・意識の向上・活動の輪の拡大

本道の水と自然環境の保全